

児玉新校基本計画検討委員会（第1回）議事録

日 時 令和2年1月24日（金）15：50～17：20

場 所 児玉白楊高校大会議室

出席委員 加藤委員長・中山副委員長・小泉副委員長・井上委員・永沼委員  
寺瀬委員・山崎委員・浅賀委員・山下委員・新井委員・水野委員  
飯田委員・小川委員・下山委員・池田委員・岡田委員・熱尾委員  
戸田委員・秋山委員

協 議

- 1 「児玉新校基本計画」の検討について説明
- 2 「児玉新校基本計画検討（案）」について

○主な意見・質問・回答

主な意見・質問・回答	
1	<p>実学を重視した学校とは具体的にどのような学校を考えているのか。</p> <p>（回答）実学を重視した普通科とは、学ぶ意欲や職業観、主体的な進路意識を育むことをねらいとし、実習や地域での体験活動を通して普通科でも農業科・工業科の学びを学習するものである。</p>
2	<p>体育コースをなくし体育の類型を作るということは、2年生から選択科目として体育を履修するのか、入学時から選択して履修するのか、イメージが分かりにくいので説明願いたい。</p> <p>現在、児玉高校の体育コースでは1年生の時から体育の時間数が多く設定されている。火・金の5、6時間目に体育コースの全学年の時間割を体育実技にしており、すべての学年が合同で実技を行っている。この伝統を受け継ぐよう、体育の類型も1年生からの履修を検討してほしい。</p> <p>（回答）基本的には選択科目にスポーツなどの専門科目を入れていくことなどを考えている。</p>
3	<p>基礎学力に重点を置く科目というのは、具体的にどのようなことなのか。</p> <p>（回答）現在、児玉白楊高校が朝学習として実施している10分間の学習を生かして、朝の時間帯に20分×5日間と帯状に設定し、単位認定できるようにしていきたい。</p>

4	現在、児玉白楊高校では朝学習と遅刻指導を連動して行っている。朝学習に遅刻をしても、単位認定される授業に間に合えばいい、という考えの生徒もいる。朝の学習が単位認定されるということであれば、遅刻指導にも有効である。
5	検討(案)の中に、礼節の育成という言葉があるが、今の時代、新校のイメージとして検討が必要ではないか。体育実技の指導というのは互いにコミュニケーションをとりながら学習していくと一般には言われている。もう少し言葉を柔らかくした方がよいのではないか。
6	専門的な知識を持っている農業科・工業科の生徒とは違い、少し体験したくらいの普通科の生徒がインターンシップに行って何をするのか、とは思う。
7	実学を重視する学校は、普通高校でも就職者が多い学校なので、実学をやる方がいいのではないかと聞いている。普通科の生徒も農業科・工業科の実習を通して、就職をイメージさせるということによいのか。
8	インターンシップでは、学校で学んだことを校外で実習することをイメージしている。実学は役に立つのではないかと考えている。
9	新校の制服やジャージ、作業服などを早めに決定していきたい。スクールカラーも早めに決めていきたい。リーフレットの作成などもあるので、大きな目標が決まった段階で決めていきたい。
10	児玉高校のスクールバスはどのくらいの人数が、どのエリアから利用しているのか。費用はどのくらいかかっているのか。 バスを利用している生徒は深谷駅や岡部駅から乗ってくる。神保原駅や上里の方からも来る。料金は乗る場所によって変わってくる。
11	令和5年度開校まであと3年しかない。現在の校舎では、児玉高校の生徒が来ても入る場所がない。校舎を増築するのか、改築するのかを早めに決めて、予算措置をしていかないと時間がないのではないかと。先送りにせず、早急に施設設備の整備を行ってほしい。